

 人文学部・大学院人文社会科学研究科

人文・社会科学の教育及び研究を通じて、地域文化の発展に寄与するとともに、人間と社会の在り方を根底から探究し、問題の解決に主体的に取り組む人材を育成します。



人文学部（2学科・4講座／2コース）		
	学 科	講座／コース
学 部	文化	日本研究講座、アジア・オセアニア研究講座、ヨーロッパ・地中海研究講座、アメリカ研究講座
	法律経済	法政コース（統治システム履修プログラム・生活法システム履修プログラム）、現代経済コース（企業経営履修プログラム・地域経済履修プログラム）
大学院人文社会科学研究科（2専攻）		
	専 攻	
修士課程	地域文化論	
	社会科学	

 教育学部・大学院教育学研究科

多様な分野からなる総合的な学部としての特長を生かし、人文・社会・自然科学を基礎とした発達や教育に関する深い専門性と職業人として十分な資質を備えた人材を育成します。



教育学部（1課程・13コース）		
	課 程	コ ー ス
学 部	学校教育教員養成	国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育、特別支援教育、幼児教育、学校教育
大学院教育学研究科（1専攻・2コース）		
	専 攻	コ ー ス
専門職学位課程	教職実践高度化	学校経営力開発コース、教育実践力開発コース

附属教育研究施設	
名 称	設置目的及び研究部門等
教育学部附属 教職支援センター	教員養成教育及び教師教育についての支援業務及び調査・研究の成果に基づく指導（教員養成支援部門、学校連携支援部門、研修開発支援部門、総合支援室、附属学校支援室）を行います。

 大学院医学系研究科・医学部

確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、豊かな創造力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献します。



大学院医学系研究科			
	専 攻	講 座	教育研究分野
博士課程・修士課程	生命医科学（博士課程）	基礎医学系	組織学・細胞生物学、発生再生医学、生化学、幹細胞発生学、分子生理学、修復再生病理学、腫瘍病理学、統合薬理学、分子病態学、感染症制御医学・分子遺伝学、免疫学、医動物・感染医学、環境分子医学、公衆衛生・産業医学、法医学科学、医学医療教育学、免疫制御学、動物機能ゲノミクス、遺伝子病態制御学、細胞生物学・再生医療学
		臨床医学系	循環器・腎臓内科学、血液・腫瘍内科学、消化器内科学、呼吸器内科学、代謝内分泌内科学、神経病態内科学、リウマチ膠原病内科学、家庭医療学、精神神経科学、小児科学、皮膚科学、放射線医学、肝胆膵・移植外科学、消化管・小児外科学、胸部心臓血管外科学、乳腺外科学、産科婦人科学、脳神経外科学、運動器外科学・腫瘍集学治療学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学、口腔・顎顔面外科学、形成外科学、麻酔科学、救急災害医学、リハビリテーション医学、臨床薬剤学、臨床検査医学、ゲノム医療学、病態解析内科学、新生児学、成育医学、健康増進・予防医療学、臨床がんゲノム学、臨床形態異常学
		（産学官連携講座）臨床創薬研究学	臨床創薬学
		（産学官連携講座）システムズ薬理学	システムズ薬理学
	医科学（修士課程）	（産学官連携講座）個別化がん免疫治療学	個別化がん免疫治療学
		（寄附講座）認知症医療学	認知症医療学
		（寄附講座）先進医療外科学	先端的外科技術開発学
		（寄附講座）スポーツ整形外科学	スポーツ整形外科学
		（寄附講座）先進画像診断学	先進画像診断学
		（寄附講座）先進がん治療学	先進がん治療学
		（寄附講座）先進血液腫瘍学	先進血液腫瘍学
		（多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン）放射線腫瘍学	放射線腫瘍学
	専 攻	領 域	教育研究分野
博士前期課程	看護学	基盤看護学	看護教育学、看護管理学、実践基礎看護学
		実践看護学	がん看護学、成人看護学、母性看護・助産学、小児看護学、老年看護学
		広域看護学	精神看護学、地域看護学
	看護学	看護学	看護教育学、実践基礎看護学、成熟期看護学、母子看護学、精神・ストレス健康科学、地域看護学
学部	医学部 2学科		
	学 科		
	医学科		
	看護学科		

● 大学院工学研究科・工学部

工学の専門分野を教授することを通じて、知的理解力・倫理的判断力・応用的活用力を備えた人材を育成するとともに、科学技術の研究を通じて、自然の中での人類の共生、福祉の増進、および社会の発展に貢献することを目指します。



大学院工学研究科（前期課程：6専攻・15講座、後期課程：2専攻・5講座）			
		専攻	講座
博士 前期課程		機械工学	量子・電子機械、機能加工、環境エネルギー
		電気電子工学	電気システム工学、情報・通信システム工学、電子物性工学
		分子素材工学	分子設計化学、生物機能工学、素材化学
		建築学	建築デザイン、建築マネジメント
		情報工学	コンピュータサイエンス、知能工学
		物理学	量子工学、ナノ工学
博士 後期課程		材料科学、システム工学	材料物性、材料化学、電気情報システム、設計システム、循環システム設計
工学部（1学科・5コース・17講座）			
	学科	コース	講座
学部	総合工学	機械工学	ロボティクス・メカトロニクス、機能創成プロセス、機械物理学、環境エネルギー
		電気電子工学	電気システム工学、情報・通信システム工学、電子物性工学、物理学
		応用化学	物理化学、無機分析化学、有機化学、生命化学
		建築学	建築学
		情報工学	コンピュータサイエンス、情報ネットワーク工学、知能システム工学、人間情報学

● 大学院生物資源学研究科・生物資源学部

自然と人類の共存を図り、生物資源の適切な開発と利用を追求する学問を確立し、その基礎的、応用的な科学技術を教授・研究することによって、独創性と専門性を兼ね備えた人材養成を目指します。



大学院生物資源学研究科（前期課程：3専攻・9講座、後期課程：3専攻・6講座）		
	専攻	講座
博士 前期課程	資源循環学	農業生物学、森林資源環境学、国際・地域資源学
	共生環境学	地球環境学、環境情報システム工学、農業土木学
	生物圏生命科学	生命機能化学、海洋生命分子化学、海洋生物学
博士 後期課程	資源循環学	資源循環システム科学、国際資源循環科学
	共生環境学	気象・地球システム学、環境・生産科学
	生物圏生命科学	応用生命化学、海洋生物学
生物資源学部（4学科、9コース）		
	学 科	コ ー ス
学 部	資源循環学	農業生物学教育コース、森林資源環境学教育コース、グローバル資源利用学教育コース
	共生環境学	地球環境学教育コース、環境情報システム学教育コース、農業土木学教育コース
	生物圏生命科学	生命機能化学教育コース、海洋生命分子化学教育コース
	海洋生物資源学	海洋生物資源学教育コース

附属教育研究施設	
名 称	設置目的及び研究部門等
生物資源学研究科 附属紀伊・黒潮生命地域 フィールドサイエンスセンター	紀伊半島全域と黒潮流域に広がる山から海までの生態系を対象に、人間と自然との共存を目指す総合科学の実習教育・研究施設
附帯施設農場	農地生産業務、果樹園芸業務、施設栽培業務、農産加工業務、機械・圃場管理業務、畜産管理業務、教育学部技術教育コースからなる農学及び地域環境の実習教育・研究施設
附帯施設演習林	森林資源学並びに森林・地域環境保全の実習教育・研究施設
附帯施設水産実験所	海洋DXの展開、漁業生産に関するIT・AIの導入、漁業環境に関するビッグデータの活用、水産科学、海洋生物学並びに海洋環境保全の実習教育・研究施設
生物資源学研究科 附属鯨類研究センター	海洋生物資源としての鯨類の持続的利用に関する基礎から応用にいたる研究を推進するための研究施設
生物資源学研究科 附属練習船勢水丸 (教育関係共同利用拠点)	水産学・海洋生物学・海洋環境学に関する実習並びに研究調査

● 大学院地域イノベーション学研究科

現代の産業社会、特に三重地域圏などの地方産業界で生じている社会ニーズと大学院における教育のかい離を打破し、地方の衰退を食い止められる人材を養成するために「地域イノベーション学研究科」を設置し、「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」および「地域にゼロから1を創造できるソーシャル・アントレプレナー人材」を育成し、地域社会に輩出します。



大学院地域イノベーション学研究科（2専攻・4ユニット）		
	専攻	講座
博士 前期課程	地域イノベーション学	工学イノベーションユニット、バイオイノベーションユニット、社会イノベーションユニット
博士 後期課程	地域イノベーション学	地域新創造ユニット

● 高等教育デザイン・推進機構

高等教育デザイン・推進機構では、各部局等と連携・協働し、三重大の教育目標の達成に向けた教育諸活動の創造、開発を推進するとともに、教育の質保証に向けた取組の支援を行います。これらの目的を果たすため、機構内に4つのセンターを設置し、学修者本位の教育の実現に向けた教学マネジメントに取り組みます。
・全学共通教育センター 全学資格プログラムセンター 高等教育開発デザイン・IRセンター アドミッションセンター

● 学生総合支援機構

学生総合支援機構では、「三重大における学生支援の基本方針」、「三重大キャリア教育方針」及び「三重大における障害のある学生の支援に関する基本方針」を踏まえ、各部局および学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組みます。
機構内に設置されている5つのセンター、学生自身による学生支援（ピア・サポート）毎に方針を定め、学生を支援します。
・修学支援センター キャリアセンター 学生活動センター 学生相談センター 障害学生支援センター

● 情報教育・研究機構

情報教育・研究機構では、各部局等と連携・協働し、三重大の情報に係る教育及び研究の推進に取り組むとともに、学術情報資源の収集・提供、情報基盤環境の拡充整備を行います。機構には次の3つのセンターがあります。
〈情報ライブラリーセンター（図書館）〉
研究支援機能、学習支援機能、地域貢献機能を3本柱とする情報ライブラリーセンターは、隣接する環境・情報科学館とともに、知を獲得・創出し、共有する場となります。
〈総合情報処理センター〉
教育システム、各種サーバーから、インターネットに接続されたキャンパスネットワークまでの多種多様な機器を管理運用することで教育、研究の支援を行います。またネットワークセキュリティの基礎を提供します。
〈データサイエンス教育センター（数理・データサイエンス館）〉
数理・データサイエンス館を拠点に地域社会と連携し、三重大におけるリテラシーとしてのデータサイエンス教育を促進することを目的とします。

● みえの未来図共創機構

三重大が地域社会とともに発展を目指す地域共創大学として、地域で展開する実践力豊かな人材の育成や研究成果の価値向上を図るとともに、社会の発展に資する諸活動を支援することを目的としています。
・産学官連携推進部門 知的財産マネジメント部門 産学官連携リスクマネジメント部門 地域共創展開センター 地域圏防災・減災研究センター

● 研究基盤推進機構

三重大が社会とともに発展することを目指して、多樣的に展開する研究活動を支援及び推進することを目的とします。
・先端科学研究支援センター オープンイノベーション施設 卓越型リサーチセンター 卓越型研究施設

● 地域拠点サテライト

県内全域を三重大の教育研究フィールドと位置付け、多様な地域特性を有する4つの地域サテライト（北勢サテライト、伊賀サテライト、伊勢志摩サテライト、東紀州サテライト）を展開しています。各地域サテライトにおいては、自治体・教育機関等との連携および協力をもとに、特色豊かな活動拠点が置かれ、教員や学生がフィールドワーク等の実践的な教育研究活動を行っています。また、これら4つの地域サテライトが地元企業や自治体と大学を繋ぐハブ機能としての役割を担うことで、地域課題の発見・共有、共同研究・共同プロジェクト等を通じた課題解決等に全学的に取り組みながら、三重大の教育研究力の向上に加え、地域創生や地域の人材育成に貢献しています。

● 学内共同教育研究施設

● リカレント教育センター

目まぐるしく変化し予測が困難な最近の社会状況においては、社会人にも新たな知識やスキルの獲得が求められています。三重大は、社会人に生涯このような学びの機会を提供するため、リカレント教育センターを設立しました。当センターでは、企業や自治体のニーズに合ったオーダーメイド型リカレント教育プログラムを構築して、三重地域圏の企業・自治体に提供いたします。また、個人の方を対象としたレディーメイドのプログラムも開発していくこととしています。

● 国際交流センター

国際交流事業及び国際教育を通じて国際的な課題の解決に貢献できる人材を養成し、三重大及び地域の国際化に寄与することを目的として設置され、海外大学との学術交流協定の締結、学生の海外留学、語学研修、留学生への日本語教育、インターンシップ、就職支援、日本人学生への国際教育、部局の国際活動の支援等を行っています。

● 国際環境教育研究センター

上浜キャンパス（附属病院を除く）において、学生を中心とした環境マネジメントシステム（EMS）が国際標準規格（ISO14001：2015）に適合していることが確認され、令和元年11月19日、「ISO14001」を継続認証しました（初期登録平成19年11月）。現在は環境マネジメントシステムの継続的改善を図るとともに、環境先進大学として環境教育・環境研究を推進し、大学の社会的責任（USR）を果たす活動を行っています。
また、教育研究活動に伴い排出される廃水、廃棄物、大気汚染物質等の適切な管理運営を行い、公害を防止し、環境の安全確保を図ります。

● 保健管理センター

教職員及び学生の健康の保持増進を図るための専門的業務を行うところで、医師・保健師・看護師等が“こころ”と“からだ”両面の相談に応じています。また、定期的な健康診断も行っています。

推進室

名 称	設置目的及び研究部門等
博学連携推進室	博物館等との組織的な協力及び連携事業を推進することにより、地域における教育・研究のネットワークを発展させます。
ダイバーシティ推進室	本学では、平成20年7月に「三重大学男女共同参画宣言」を行い、女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランス及び次世代育成支援対策等に配慮した働きやすい職場環境づくりに取り組んでおり、令和2年には「子育てサポート企業」として、厚生労働省の認定（くるみん認定）を受けました。本年4月からは、これまでの男女共同参画推進室を「ダイバーシティ推進室」に発展的に再編し、男女共同参画推進部門とバリアフリー推進部門を設け、新たに兼務教員2名が参画します。各学部・研究科の委員からなるダイバーシティ推進委員会の下、全学共通教育の授業開講、研究と育児・介護等との両立支援のための助成等の各種事業の実施でダイバーシティ推進に貢献します。

その他の施設

名 称	設置目的及び研究部門等
環境・情報科学館 (Mie Environmental & Informational Platform : MEIPL)	情報ライブラリーセンターと一体化したアカデミックコモンズ※の一角であり、「世界に誇れる環境先進大学」を目指す本学が行う、低炭素社会の構築・形成過程を発信する中心施設です。1階は環境教育や研究・地域コミュニティとの交流スペース、2階は全面がラーニングコモンズ、3階は、廊下側の壁がないオープン・スクール形式の教室（PBL演習室）として機能しています。 ※アカデミックコモンズ…ヒトやモノを含むさまざまな情報資源と交流・協働することによって、知を生み出したり、その知を共有したりする場。
数理・データサイエンス館 (CeMDS)	必携ノートパソコンなどのICT（情報通信技術）機器の利活用・教育学習支援による数理・データサイエンス（DS）人材育成を行い、データサイエンス教育・人材育成による地域社会の情報技術発展への貢献を目的とします。

三重大学リサーチセンター

卓越型リサーチセンター

番号	センターの名称	代表者名
1	三重大学次世代型電池開発センター	理 事 今西 誠之
2	三重大学人間共生ロボティクス・メカトロニクスリサーチセンター	工学研究科 教 授 池浦 良淳
3	三重大学特異構造の結晶科学リサーチセンター	工学研究科 教 授 三宅 秀人
4	三重大学次世代型VLPワクチン研究開発センター	医学系研究科 教 授 野阪 哲哉
5	三重大学次世代創薬ゼブラフィッシュスクリーニングセンター	医学系研究科 講 師 島田 康人
6	三重大学コーディネート育種基盤創生リサーチセンター	地域イノベーション学研究科 教 授 諏訪部圭太

リサーチセンター

番号	センターの名称	代表者名
1	三重大学環境エネルギー工学研究センター	工学研究科 教 授 廣田 真史
2	三重大学メディカルゼブラフィッシュ研究センター	医学系研究科 教 授 井上 貴博
3	三重大学脳解析センター	医学系研究科 教 授 成田 正明
4	三重大学マトリックスバイオロジー研究センター	医学系研究科 准教授 長谷川正裕
5	三重大学ソフトマターの化学リサーチセンター	工学研究科 教 授 鳥飼 直也
6	三重大学次世代ICTリサーチセンター	工学研究科 教 授 成瀬 央
7	三重大学バイオエンジニアリング国際教育研究センター	医学系研究科 教 授 島岡 要
8	三重大学環境低負荷プロセスリサーチセンター	工学研究科 教 授 金子 聡
9	三重大学複合的がん免疫療法センター	医学系研究科 産学官連携講座 教 授 宮原 慶裕
10	三重大学難病研究センター	医学系研究科 教 授 ガバザ エステバン
11	三重大学海藻バイオリファインアリー研究センター	生物資源学研究科 准教授 柴田 敏行
12	三重大学先天性心疾患・川崎病センター	附属病院 准教授 三谷 義英
13	三重大学スマートセルイノベーション研究センター	生物資源学研究科 教 授 田丸 浩
14	三重大学先端医科学グローバルリサーチセンター	医学系研究科 教 授 西村 有平
15	三重大学科学的地域環境人材育成リサーチセンター	工学研究科 教 授 金子 聡
16	三重大学樹木医学リサーチセンター	生物資源学研究科 教 授 中島 千晴
17	三重大学物質・量子計測科学リサーチセンター	工学研究科 教 授 中村 浩次



資料編

職員数

職員数

令和4年5月1日現在

区 分 部局等	学長	理事	監事	大学教員				小計	附属学校 教員	その他 職員	小計	合計
				教授	准教授	講師	助教					
学長・理事・監事	1	6(2)	2(1)					9(3)			0(0)	9(3)
事務局等								0(0)		190(70)	190(70)	190(70)
高等教育デザイン・推進機構				3	4(2)	2		9(2)		2	2(0)	11(2)
学生総合支援機構						3(1)		3(1)			0(0)	3(1)
情報教育・研究機構					2(1)		2	4(1)		2	2(0)	6(1)
みえの未来図共創機構					2		3(1)	5(1)			0(0)	5(1)
研究基盤推進機構				1	3		4	8(0)		4(2)	4(2)	12(2)
地域拠点サテライト								0(0)			0(0)	0(0)
リカレント教育センター								0(0)			0(0)	0(0)
国際交流センター				1(1)	1(1)		1	3(2)			0(0)	3(2)
国際環境教育研究センター							1	1(0)			0(0)	1(0)
保健管理センター				2		1(1)		3(1)		2(2)	2(2)	5(3)
人文学部				38(8)	24(6)	4(2)		66(16)		9(5)	9(5)	75(21)
大学院教育学研究科				2	4(2)			6(2)			0(0)	6(2)
教育学部				43(8)	17(4)	2(1)		62(13)		8(4)	8(4)	70(17)
附属幼稚園								0(0)	7(6)		7(6)	7(6)
附属小学校								0(0)	26(8)	5(4)	31(12)	31(12)
附属中学校								0(0)	27(10)		27(10)	27(10)
附属特別支援学校								0(0)	28(13)		28(13)	28(13)
大学院医学系研究科				45(10)	31(8)	16(1)	39(13)	131(32)		5(3)	5(3)	136(35)
医学部						2(2)	9(3)	11(5)			0(0)	11(5)
附属病院				11(2)	20	46(5)	139(40)	216(47)		908(717)	908(717)	1,124(764)
大学院工学研究科				37	43(2)	3	17(2)	100(4)		25(7)	25(7)	125(11)
大学院生物資源学研究科				45(2)	34(5)	1	13(1)	93(8)		9(5)	9(5)	102(13)
附属紀伊・黒潮生命地域 フィールドサイエンスセンター								0(0)		19(6)	19(6)	19(6)
附帯施設農場				2	1			3(0)			0(0)	3(0)
附帯施設演習林					2			2(0)			0(0)	2(0)
附帯施設水産実験所				1	1			2(0)			0(0)	2(0)
附属鯨類研究センター				1	2(1)			3(1)			0(0)	3(1)
附属練習船勢水丸					1		1	2(0)		13	13(0)	15(0)
大学院地域イノベーション学研究科				7(1)	2(1)			9(2)		3(1)	3(1)	12(3)
総 計	1(0)	6(2)	2(1)	239(32)	194(33)	80(13)	229(60)	751(141)	88(37)	1,204(826)	1,292(863)	2,043(1,004)

*理事のうち2名は非常勤職員。 *監事のうち1名は非常勤職員。 *休職者及び育児休業者を含まない。 *（ ）内は女性数を内数で示す。 *附属学校教員には特別教員を含む。

寄附講座・産学官連携講座・寄附研究部門

区 分 部局等/講座・部門	設置数	大学教員				合計
		教授	准教授	講師	助教	
大学院医学系研究科	寄附講座	4(1)		2(0)	4(2)	10(3)
	産学官連携講座	2(0)			1(1)	3(1)
医学部	寄附講座	5(0)			9(0)	14(0)
附属病院	寄附研究部門				4(0)	4(0)
合 計		11(1)	0(0)	2(0)	18(3)	31(4)

*（ ）内は女性数を内数で示す。